

船場人

SEBAJIN

今日からあなたも船場人
船場ガイドブック
2023

集英地域活動協議会
船場倶楽部



特集

音 船 楽 場 の





坐摩神社境内の「ざまさん音楽会」 大阪市立東中学校吹奏楽部の演奏風景 2022年9月24日撮影

ようこそ船場へ

船場は豊臣秀吉の壮大な都市計画の中で誕生し、長い歴史の中で栄枯盛衰を経験しながらも常に大阪の経済や文化の中核を担ってきました。昔ながらの整然とした格子状の街路を保ちつつさまざまな先進的なまちづくりも進んでいます。歴史と伝統が息づく泰然たるまちなみの中で今を生きる人々の活気ある営みにも出逢えます。そんな船場をよりよく知っていただくため私どもは毎年このガイドブックを制作しています。今回はメインテーマを「**船場の音楽**」としました。さあ、今日からあなたも船場人。

このガイドブックを手に船場のまちを散策し、その魅力と素顔を肌で感じていただければ私どもにとってこれに勝る喜びはありません。

集英地域活動協議会 船場倶楽部

特集 船場の 音楽

「船場」と「音楽」に何の関係か？と思われるかもしれない。著名な音楽ホールやライブハウスがあるわけではない。それでも船場には音楽が流れている。毎年秋に催される「大阪クラシック」では、御堂筋沿いをはじめ街区の企業やホテル、銀行などでミニコンサートが開かれる。神社の境内では地域の音楽団体の音楽会が催され、音楽で交流を広げている。街中に流れる音楽もあれば、人から人へと時代を超えて流れる音楽の精神もある。明治・大正時代には幼稚園や小学校にグランドピアノが設置され、子どもの時から音楽にふれる環境がつけられた。同時代に楽器店が誕生し、音楽学校が設立された。音楽はいつも身近にあった。そしてジャズも。大阪のジャズは大正時代、北浜にあったレス・トランでの演奏が最初という。もちろん邦楽もあるが、それは別の機会に。今回は西洋音楽を取り上げた。現在の船場にはどんな音楽が流れているのか、音楽を奏する人、つなぐ人に話を聞いた。



街角の音楽

船場のまちは一見すると、無機質なビジネス街だが、音楽で潤いを、音楽でつながりを、音楽で豊かさを、と活動する人がいる。そして街角に音楽が流れた。

MUFJ銀行大阪ビルギャラリーラウンジ MUFJマンスリーコンサート

地域に貢献するイベントを開催

御堂筋に面した三菱UFJ銀行大阪ビル。品格ある1階のギャラリーラウンジで催される、月1回のクラシックコンサートが人気を呼んでいる。「ビルは、御堂筋の高さ制限撤廃後の新基準で建った第1号で、竣工した2018年から早速『大阪クラシック』をはじめ、地元の団体の皆さまから、使いたいとお声がけいただきました」と総務部の菊池真さん。



MUFJマンスリーコンサート

毎月、月末近くの平日17:30開場、18:00スタート。解説付きで30分ほどのプログラム。入場無料。座席は100席、演奏が間近で楽しめる。伏見町3丁目5-6 map 1



まちかどコンサート in いちようテラス淀屋橋 御堂筋まちづくりネットワーク主催の催しに関西ミュージックリンク協会が協力。プロストリートギタリストのCHUTAさんが演奏を披露した。2022年6月。map 2

若い有能な音楽家と街をつなぐ

ミュージックリンク(関西ミュージックリンク協会)は、音楽で人と人、人と場をつなぐ活動を展開。既存の場所と連携し、若い有能な音楽家を支援している。設立は2010年。「きっかけは、音楽を趣味で習っている人たちと数年にわたり開催した自主ライブ。その後、バック演奏をお願いした音大生たちがプロとして羽ばたくのを見て、設立を決めた」と代表理事の玉野淳さん。副理事の元氏誠さんと連名の設立宣言には「素敵な音楽がいつも満ち溢れ、ここに安らぎを与える、そんな豊かな人生の場をともに創ろう」とある。

玉野さんは税理士、元氏さんは都市計画コンサルタント。「素人集団」という玉野さんた



株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 経営企画部ブランド戦略グループの長谷川照世さん(右下)と同所属調査役の小林紗友里さん(右上)。株式会社三菱UFJ銀行総務部調査役の菊池真さん(左下)、同大阪ビル管理室課長の長野ゆかりさん(左上)。



玉野淳さん 一般社団法人関西ミュージックリンク協会代表理事。船場中央税理士法人代表社員。船場にあった集英小学校、船場中学校出身。ミュージックリンクの活動は10年を超え、アーティストとのつながりがますます広がっている。

御堂筋や船場のイベントに協力 ミュージックリンク

「コロナで演奏の機会をなくした音楽家と、聴く機会をなくした市民の皆さん、双方に喜ばれるのではないかと」と小林紗友里さん。「会社帰りの方や、ベビーカーでお子様連れの方にも気軽に来ていただいています」と長谷川さん。大阪ビル管理室の長野ゆかりさんは「リピーターの方も徐々に増えて、ステージの場所や椅子の配置は、試行錯誤の連続でした」といい、今のレイアウトでようやく安定した。「音楽・伝統芸能・教育を柱に、大阪の文化を発信していきたい」という長谷川さん。コンサートも、今後の催しも楽しみだ。

ちは、独自のイベントを手がけてきた。「船場アートフェスティバル」もその一つ。2015年、実行委員会を立ち上げ、綿業会館など9会場で22組が出演する「大フェスを開催した。

現在、御堂筋まちづくりネットワークや綿業会館へのコンサート協力を通じ、関西の明日を担う音楽家を支援している。

本町橋を拠点に活動

ポップファイル

ハーモニー楽団

音楽を子どもたちの成長の糧に

「本町キッズポップファイルハーモニー楽団」は、小学生と中学生で構成された楽団。



本町キッズポップファイルハーモニー楽団

8月「本町橋」で入団式が行われた。講師は稲本愛歌さん、要枝三里さん、植田琴巳さん、神庭真捺さん。子どもたちの楽器はトランペット、フルート、サクソ。map 3

2023年夏、楽器が未経験の6名と、以前から活動していた「谷町キッズ」から移籍した3名の計9名で活動を開始した。拠点は東横堀川の水辺に建つスペース「本町橋」。子どもたちに楽器の演奏指導を行っている講師は現在4名。さらに「応援団長」である北原さとみさんが、ステージ活動や社会活動などをサポートしている。

子どもたちは好きな楽器が選べ、貸し出された楽器は自宅への持ち帰りも可能。「まずは楽器を大切に扱うことを学びます。

「まずは楽器を大切に扱うことを学びます。合奏によってハーモニーが生まれることを知り、チームワークの大切さや楽しさも、音楽と一緒に感じてほしい」と北原さん。

「谷町キッズ」は、地域のイベントやお祭りなどで演奏活動をしてきたが、「本町キッズ」にも出演依頼が多数きているそう。

「船場の歴史ある建物や街角で演奏することは、心の成長にもつながると信じています」

会場は坐摩神社の境内

ざまざまさん音楽会

地元の音楽団体の発表の場

久太郎町にある「坐摩神社」の、「坐摩」は「いやすり」と読むのが正しいが、「ざま」さんと地元の人と呼ぶ。坐摩神社で2022年から行われている音楽会は呼びやすく「ざまざま音楽会」と名づけられた。



ざまざまさん音楽会

境内の北側に五つの末社が並び、東西に長い拝所がある。演奏はその拝所の前で行われる。久太郎町4丁目渡辺3号 map 4

この音楽会の前身は、2005年から毎年10月、同じく坐摩神社で開催されてきた「せんば鎮守の杜芸術祭」。昼は地元音楽団体による「音楽祭」、夜はオペラ&バレエのかがり火コンサート「芸術祭」という2部構成で、ボランティアが運営してきたが、コロナの影響で開催は休止となった。

しかし、なんとかその火をつなごうと、これまでの実行委員会有志と出演団体が集まり、昼の部を「ざまざまさん音楽会」として再スタートした。2023年には第2回を開催。出演団体は開平小学校生涯学習ルーム女声コーラス、クラボウマンドリンギタークラブ、大阪ガスマンドリンククラブ、相愛高等学校音楽科など、約10組。

「演奏者同士のつながりや、観客との交流が生まれる貴重な場となっています」と実行委員の三谷直子さん。



三谷直子さん ざまざまさん音楽会実行委員。「せんば鎮守の杜音楽祭・芸術祭」の実行委員から引き続き有志として参加。出演団体との交渉や、会場の調整など、船場の人々とながらながらイベントを実施。



北原さとみさん ピアニスト、イベントコーディネーター。「谷町・本町キッズポップファイルハーモニー楽団」応援団長。2013年にNPO法人音楽文化芸術振興会、2016年「谷町キッズポップファイルハーモニー楽団」の立ち上げに関わる。



船場の音楽人

全国的に活躍する、船場に縁の音楽人にご登場願った。大塚善章さんはジャズ、延原武春さんはロック音楽と、ジャンルは違えど、楽しい音楽の場を広げている。

ジャズピアニスト

大塚善章さん

卒寿にして現役！ジャズ界の重鎮

大塚善章さんは2024年に卒寿を迎える。89歳で現役のジャズピアニストというのは世界中を見渡しても希有な存在だ。しかも2003年から「NPO法人関西ジャズ協会」の会長を務めるジャズ界の重鎮でもある。

中学時代にジャズが好きになり、高津高校時代にバンド活動を開始。在学中に同校の校歌を作曲している。やがてテレビの全国ネット



おつか・ぜんしょう 1934年、大阪市天王寺区生まれ。高津高校在学中に校歌を作曲。学生時代からジャズピアニストとして活動を開始、テレビやラジオ番組でも活躍。代表作に、大阪をテーマとしたピアノコンチェルト『上町台地』など。2003年より「NPO法人関西ジャズ協会」会長。

トの番組にも頻繁に出演する人気者となった。

「僕は上本町で生まれ育ちましたが、80年代に大手通に居を構えた時は、ああ船場の近くに帰ってきたなと思いました。というのは、僕の祖父が愛日小学校*の出身なんです」

曾祖父の大塚磨氏は熊本出身で大阪商船の社長となった人物。その長男の惟明氏は南海電気鉄道の社長。次男の文蔵氏が善章さんの祖父で、その息子である父、桂蔵氏は歯科医だったという。船場を代表する財界人が、大塚さんの家系のルーツだったのだ。

街を音楽で盛り上げたい

1984年以降は大阪をテーマとしたピアノコンチェルト『上町台地』を発表。パートナーの紀平真理さんはアナウンサーで、東横堀川水辺再生協議会「e-yo-con」の役員でもあり、まちを活性化させる取り組みにも尽力している。

力している。

「e-yo-con」が主催するイベント「e-yo-con道遥」では「堺筋のJAZZの風」と題したコンサートを、2016年から堺筋沿いの丸一商店で開催。コロナ禍で中止された年もあったが、大塚さんはイベントが実施された年には欠かさず出演を続けている。若いジャズメンたちに限りなく尊敬されているオーソリティーでありながら、大塚さんは気さくで、音楽に対するスタンスも軽やかだ。

「船場という地名に愛着をもっていますから。自分の音楽で街を盛り上げることができれば、世界に通用する若いミュージシャンもたくさんいますしね」

音楽には人を勇気づけ、和ませる力があると信じる大塚さん。自身の卒寿リサイタルが終わったら、次はできれば万博の年に「御堂筋ジャズストリート」を開催したいとも考えている。

洒脱で温かな大塚さんのピアノの音が御堂筋に響き渡れば、船場の潜在的な文化力を世に広く知らしめる機会にもなりそう。



東横堀川水辺再生協議会「e-yo-con」の役員を務めるフリーアナウンサーの紀平真理さんは、大塚さんの妻で、公私にわたるパートナー。

*愛日(あいじつ)小学校 前身は1872年に豪商「升屋(ますや)」(山片家)が自らの居宅を寄贈してきた北浜小学校。1886年に愛日小学校が誕生、1896年に移転し、閉校する1990年まで、北浜4丁目3にあった。

日本テレマン協会音楽監督 延原武春さん

テレマンの音楽と精神を伝える

テレマンは後期バロックを代表するドイツの作曲家。延原武春さんはテレマンに魅せられ1963年、日本テレマン協会を設立。室内オーケストラと室内合唱団を率い、「定期演奏会」の関西公演を初期は御堂会館など、近年は大阪市中央公会堂で、また「マンズリーコンサート」を長く大阪倶楽部で主催している。

2023年、結成60周年を迎えた。テレマンは生涯で5000以上の作品を残し、宮廷や教会だけでなく市民のためにも多くの曲を作ったという。その精神は延原さん自身と重なるところも多い。たとえば、延原さんが最近始めた「アフターランチコンサート」は、ガスビル食堂でのランチと1時間ほどのコンサートがセットになった企画。中には食後、御霊神社の儀式殿に移動して公演を鑑賞する特別企画も。延原さんの音楽に対する姿勢は、ハンブルクの街で音楽の楽しさを重視したテレマンの理念にも通じる。

船場と共にあったテレマン協会

延原さんと船場の街との関わりは、なんと音楽キャリアの最初期にまでさかのぼる。「親戚が御霊神社の参道でバーを経営していたんです。私はそこに学生時代から出入りし



大阪倶楽部4階ホールで、月1回開催される「マンズリーコンサート」のコンセプトは「サロンで聴く18世紀音楽」。指揮者の延原さんや演奏者の息づかいが間近に感じられる。 map 6

ていて、1967年ごろ一時、店を預かる機会を得て、チェンバロを置いてバロック音楽の聴ける店にしました。当時は大阪テレマンアンサンブルとして活動を始めたところを手探り状態。商業的な成功を目指すというより実験的な試みでした」

方はまだ珍しかったが、店を訪れた人たちには大いに受けたらしい。特に医師が多く、界わいの企業に勤めるクラシック好きの人や、古くから住む近隣の人たちにも好評だった。大ホールで聴く19世紀以降のオーケストラ音楽とは違い、テレマンの活躍した18世紀は室内楽が中心で、小編成。たとえば貴族の館での晩さん会などで演奏されたりしたという。そんな演奏家と聴き手の近さが、延原さんの音楽の原点にある。

1968年、第1回例会が北御堂の会議室でサロンコンサートの行われた。やがて1984年から会場は大阪倶楽部に移り、同マンズリーコンサートは500回を超えた。延原さんの音楽は常に船場の街と共にあったといえる。「船場には面白いことをやってみようという文化がある。受け入れてやろうという土壌もある。私はその気質が好きですね」と笑顔で語った。

※コンサートについての問合せ <http://www.cafe-teleman.com/> 06-6345-1046(平日10:00~18:00) 日本テレマン協会



のぶはら・たけはる 1943年、吹田市生まれ。指揮者・オーボエ奏者。テレマン室内オーケストラ、テレマン室内合唱団を率い、全国的に活動。「中之島をウィーンに！」を合言葉に、大阪市中央公会堂で「定期演奏会大阪公演」を開催。1977年文化庁芸術祭優秀賞、1986年サントリー音楽賞を受賞。2009年ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小授章を受章。写真はガスビル食堂で。



大阪ガスビル8階にある欧風レストラン「ガスビル食堂」で、毎月開かれている「テレマンランチコンサート」。食事のあと、音楽を楽しむ。 **ガスビル食堂** 平野町4丁目1-2 ガスビル南館3階 11:30~21:30(L020:30) 土日祝休 06-6231-0901 map 7 (御霊神社 map 8)



写真左から「堺筋のJAZZの風」2019年、同2023年、いずれも丸一商店。写真右「水辺のJAZZライブ」β本町橋。2024年2月11日には大阪証券取引所ビルアトリウムで「大塚善章クインテットのライブ」(map 5)、11月24日にはエルセラウンホール(堂島)で卒寿記念のリサイタルを予定。※詳細はP.15



大学・企業の音楽活動

「相愛オーケストラ」の演奏は、実践型の教育プログラムに基づくものだった。また、職域クラブとして活動する、大阪ガス、クラボウ、2社のマンドリンクラブを、ご紹介。

相愛オーケストラ委員長 上森祥平さん

実践教育としてのオーケストラ

大学本部は住之江区南港に移転したものの、船場にある大学といえは、本町にある相愛大学。音楽学部は100年を超える伝統があり、60年以上の歴史をもつ「相愛オーケストラ」は、日本の大学において希有な存在だ。楽団は「オーケストラ音楽プログラム」という、実践によって技術や表現力を高める、独自の教育方針に基づき、5部門で構成されている。「相愛シンフォニーオーケストラ」「相愛ストリングオーケストラ」「相愛ウィンドオーケストラ」「相愛ジュニアオーケストラ」「相愛フィルハーモニア」、以上を合わせて「相愛



うわもり・しょうへい 日本音楽コンクール第1位、松下賞受賞。2005年ベルリン芸術大学卒業。ソロ・室内楽・主要オーケストラ首席客演、音楽祭やNHK出演など多数。2016年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。日本チェロ協会理事。

オーケストラ」。総勢約300名を束ねるのが、特任准教授の上森祥平委員長だ。「音大生だけでなく、小学生から高校生までのジュニア、教員や卒業生のフィルハーモニア、さまざまなメンバーと音楽をつくりあげること、演奏家として必要なコミュニケーション能力と協調性も高まります」

学外の演奏会で腕と心を磨く

オーケストラの母体は1955年、音楽科長だった山田耕作のもと、音楽の早期教育を目指して誕生した「相愛学園子供の音楽教室」（現相愛大学附属音楽教室）。実践教育としてのオーケストラや合唱の授業がスタートした。相愛オーケストラは、学内だけでなく、学外へ向けて演奏を披露する機会が多いというのも特徴。演奏経験を積むことで、音楽家としてのプロ意識が磨かれていく。北区のシンフォニーホールで年に2回開かれる定期演奏会をはじめ、それぞれの部門や小編成でも数多くの演奏の機会がある。

船場でも「せんば鎮守の杜音楽祭」や御堂筋でのまちかどコンサートなどの地域イベントに出



相愛オーケストラ

実践型の「オーケストラ教育プログラム」は、サイトウ・キネン・オーケストラにその名をとどめる日本の音楽教育の祖、故齋藤秀雄氏が提唱した。合奏のほか、分奏も重視した練習も氏の指導法を継承。

演、毎月開かれる「北御堂相愛コンサート」には、学生や卒業生が演奏するほか、本町学舎の講堂ではジュニアの演奏会が開かれる。ほかに、本町学舎にはアンサンブルスタジオがあり、国内外から一流の音楽家を招いた公開レッスンが行われるほか、音大生の発表会も開かれている。「楽団員には指導陣ほか、全日本学生音楽コンクールで優勝する学生もいて、層の厚さと確かな実力があります。船場のみなさん、ぜひ応援しにきてください」と委員長。



2023年7月4日、本町学舎アンサンブルスタジオで行われた、ウィーンフィル元コンサートマスターで、ウィーン国立音楽大学正教授のライナー・キュッヒル教授による公開レッスン風景。当日は学生のほか、一般の聴講者が非常に多く来学した。 map 9

Daigasグループのクラブ活動 大阪ガス マンドリンクラブ

チャレンジ精神で80周年を目指す

大阪ガスマンドリンクラブは1947年に設立。今年で76年目を迎える。「マンドリンがブームだった60年代から70年代は、バス2台で合宿へ向かうほど部員が多かったそうです。1990年に私が入部してからも、中国、ウィーン、ハワイ、ロシアなど海外への演奏旅行や、長野、鳥取、金沢で公演したこともありました。残念ながらだんだん人数が減ってしまいましたが、先輩たちに協力していただき、今も楽しく活動を続けていま



大阪ガスマンドリンクラブ

2023年6月、北浜東の「エル・おおさか」で開催された第45回マンドリンフェアでの演奏風景。

す」と幹事の徳田佐知子さん。

メインの演奏会は、関西のマンドリン演奏団体が参加する「マンドリンフェア」。船場界隈では、坐摩神社で開催される「さまさん音楽会」への参加、ガスピルのカフェテリアでの自主的な演奏会、そのほか介護施設の慰問にも力を入れる。演歌、Jポップから壮大なクラシックまでレパートリーが広く、どんな曲でもやってみるチャレンジ精神が特徴だ。「演奏を聴いた人たちから、いろんな反応ももらえるのがうれしいですね。御堂筋を歩く人たちにも気軽に立ち止まって聴いてもらえるような機会を、4年後の80周年に向けて増やしていけたらいいなと思っています」

起源は倉敷紡績の工場 クラボウ マンドリン ギタークラブ

先輩たちから受け継いだ音楽

「創立は1966年。それ以前から倉敷紡績の各地の工場にはマンドリンクラブがあり、本社でもつくろうと、本社マンドリンクラブが創立されました。現在は本社のみが活動を続けています」とグループ会長の部長で、クラブ幹事長・指揮者の山下克人さん。「マンド



練習は、月2回の水曜と、イベントに向けては土日に先輩も参加して、本社ビルの会議室で行う。この日の参加者は、前列左から池崎加奈子さん、栗山智子さん、蓮池純子さん、高橋由紀子さん、小島扶美さんと、後列、山下克人さん、井上知永子さん。 map 10

リンは手軽に合奏が楽しめる楽器です」とも。「メンバーは短大や大学のマンドリンクラブに所属していた経験者がほとんどです」と本社繊維事業部ユニフォーム課で、ギターパートの小島扶美さん。小島さんは高校時代から好きなギターを弾いている。

社会人の音楽活動が盛んだった時代、社会人楽団が一堂に会する「産業音楽祭」への参加

が活動の目標だった。第1回から最終回まで49回連続出場し、表彰された同クラブ。その後は「マンドリンフェア」への参加と、船場の「さまさん音楽会」を目標に練習を積み、慰問演奏にも出かける。「あと3年で60周年。先輩たちから受け継いだ伝統あるクラブなので、さらに70周年へ活動を続けたい」とメンバーは練習に励む。



クラボウマンドリン
ギタークラブ

2023年6月の第45回マンドリンフェアに参加した際の記念写真。「エル・おおさか」ロビーで。メンバーは現役社員が中心で、退職した先輩たちも参加する。



徳田佐知子さん 大阪ガスマンドリンクラブ幹事。大阪ガスビジネススクエア株式会社で経理を担当。マンドリン演奏は入社後、演奏を聴いて入部してから始めた。練習は会社施設で行う。 map 7



ピアノを継ぐ

「愛珠幼稚園」には明治時代に購入されたピアノがあり、開平小学校の「開平ホール」には大正時代のピアノがある。貴重なピアノは大切にされ、卒業生が音楽を奏でている。

ピアノリスト 武田牧子ヘルムスさん

愛珠幼稚園のイルムラーピアノ

明治13(1880)年、船場の人々の力であられ、市政施行に伴い大阪市立となった愛珠幼稚園。現在の園舎は明治34(1901)年竣工、現存する木造幼稚園としては日本最古で、園舎は戦火をくぐり、2007年には国の重要文化財に指定された。

遊戯室に、古いグランドピアノがある。ザクセン王国(旧東ドイツ内)の音楽都市ライプツィヒに1818年設立されたピアノメーカーJ・G・イルムラー製で、ヨーロッパ各地



楽章ごとに解説をほさむ。「10分でもいいから“静かに聴く”という姿勢になれることによって、自分との対峙が始まり、心が豊かになる」と武田さん。

の王室御用達の楽器に選ばれ、その最高ランクだったが、第二次世界大戦後にメーカーは消滅した。明治

42(1909)年、同幼稚園がピアノを購入した当時は千円(今なら3、4千万円)だったという。それから百年以上、大切にされてきた。2005年、ピアノは大々的な補修がなされ、翌2006年、ピアノ開きのコンサートが行われた。その時、呼ばれたのが、同園卒園生でドイツ在住のピアノリスト、武田牧子ヘルムスさんだった。ちょうどいすみホールで行われるピアノリサイタルとも予定が合った。以来、コロナで2年中止したものの、毎年春と秋の2回、演奏会や指導のため帰国するのに合わせ、園児のために演奏会を行っている。

本格的なプログラムで演奏

「毎回、接するたび、子どもたちがこちらの気持ちや優しく包み込んでくれる」という武田さんは船場生まれ、現在、姉の住む家からも幼稚園へは徒歩圏内。集英小学校へ進み、相愛学園子供音楽教室で学び、桐朋学園高等学校音楽科を卒業後、ドイツへ留学。ドイツの国立音楽大学のピアノ教授として長年勤め、在独年数は50年を超えた。未就学児が行けるコンサートは限られる。



たけだ・まきこ・ヘルムス(手前) 愛珠幼稚園卒園。桐朋学園高等学校音楽科を卒業、理事長賞受賞。フランクフルト国立音楽大学、ハノーファー国立音楽大学を卒業後、ザルツブルクのモーツァルテウムに在籍。1976年イタリア・テルニの国際ピアノコンクール一位入賞。2017年マインツ国立音楽大学ピアノ科教授を退職。1994年～2013年ドイツ・ヴィスバーデンの法務省で「アミチ・デラルテ」(芸術の友)を主宰、国際的に活躍する演奏家や俳優と約70回にわたって共演。鶴嶋順子さん(奥) ピアニスト。武田さんの30年にわたる生徒さん。

「子どもたちが、本当の音色を聴く機会がありません。だから毎回しつかり本格的なプログラムを組んでいます」と武田さん。2023年5月のコンサートは、英国王の戴冠式にちなんで、モーツァルトのピアノ協奏曲第26番「戴冠式」。ピアノ独奏部を武田さんがイルムラーのピアノで、オーケストラ伴奏を鶴嶋順子さんが武田さんの寄付によるアップライトピアノで、2台のピアノで全曲を演奏した。

「入園して間もない年少児も響き渡る音色に興味津々です。年長児になると武田先生のことをよく覚えていて、回を重ねて、熱心に聴いています」と藤岡裕子園長。音楽と共に子どもたちが育つことを実感されている。「可能な限り続けたいと思っています」という武田さんはまた、この取り組みについて、「17年にわたってせっかくなので敷かれたこの慣例が途絶えないことを切に願っています」と語った。

ピアニスト 鹿島久美子さん 鹿島早希子さん 丸山悦治さん

開平小学校のスタインウェイピアノ

2022年から開平小学校生涯学習ルーム主催で、年に一度行われている「開平ホール音楽会」。音楽会に出演しているのは同校出身ピアニスト。鹿島久美子さんは1年目に出演、妹の早希子さんは2年連続で出演した。

ホールには、大正時代に製造され、当時最高級とされたスタインウェイのセミグランドピアノが受け継がれている。二人とも小学生の時、朝礼や卒業式などで音を聴いたという。なぜ古い高級なピアノが1990年開校の開平小学校にあるのだろうか。それ以前、スタインウェイのピアノは愛日小学校にあった。愛日地域活動協議会の会長、丸山悦治さんによると、

「愛日小学校と集英小学校が合併して開平小学校ができた時、両校の伝統を受け継ぎ、多様な教育が展開できるよう開平ホールが設けられ、ピアノも置かれることになったのです」

1929年に発行された愛日小学校の新築落成記念本に写真が残っているが、それまでの来歴は不明。戦後は進駐軍に接収されたが、当時の音楽の先生が尽力して取り戻したというエピソードが残っているという。

地域で守る豊かな文化

開平ホールのピアノがスタインウェイだと鹿島さん姉妹が知ったのは、二人の母親である音楽家の鹿島満美さんが、同ホールで、生涯学習のコーラスの指導を始めた時だったという。「こんなお宝のピアノだったとは驚きました。調律にも立ち会わせていただきましたが、調整後は思いのほ



2023年6月の「開平ホール音楽会」を前にピアノの調律が行われた。その前年、開平ホールが復元された際は、10年ぶりの調律だった。ピアノは定期的な調律が欠かせない。ウィンテージピアノは、修繕された調律の技術も必要。

か音が伸び、ピアノが息を吹き返したかのようになり音色が変貌しました。まるで生き物のようだと感じました」と久美子さん。

「このピアノは小学校の財産目録に含まれておらず、地域のピアノとして守っています。調律などの手配や費用は、『愛日文庫』*を守るのと同様、地域で負担しているんですよ」と丸山さん。宝物を継いでいくために、地域の人のみなみならぬ協力があつた。

「開平ホール音楽会」は、生涯学習推進員の菅野薫さんによってピアノの魅力を地域にお披露目するために企画された。

「年配の方や、小さいお子さんにも聞きなじみのある曲を入れたり、スタインウェイの音色の魅力が伝わるショパン、リストなども加えて選曲しています」と早希子さん。

「船場は昔から教育熱心な地域で、子どもにも本物の楽器で教育しようとした。豊かな文化の火を絶やすことなく、この音楽会を通して次世代に継いでいきたいですね」と丸山さんも力を込める。

*愛日文庫

近世大阪の町人学者、山片蟠桃の旧蔵書を中心とした3000点を超える古典籍類。豪商「升屋」として知られた山片家が、小学校設立のため邸宅を寄贈した際、貴重書も寄贈。年に一度、守る会や同窓会、児童によって曝書が行われている。



2022年3月に「開平ホール」が復元されたのを記念して開催された音楽会を、卒業生4名によるピアノ演奏が行われたが、コロナの影響で参加者は限られた。2023年は乳幼児から高齢の方まで86名の参加者があった。 map 12



木造の遊戯室は音の響きが良い。ピアノの補修費は卒園者らの同窓会「愛珠会」が支援。ほかに同幼稚園には、明治時代に購入されたバイオリンや、大阪市立女学校から移管された前川製風琴というオルガンもある。 map 11





老舗の楽器店

「三木楽器」はまもなく創業2000年。「丸一商店」は戦前より輸入楽器を扱ってきた。「三木楽器開成館」館長は、音楽文化を育て、発信していくことが使命と語った。

「三木楽器 開成館」館長 竹村早苗さん

創業2000年を迎える老舗楽器店

関西を中心に、幅広く音楽事業を展開する三木楽器。文政8（1825）年の創業から2000年を迎えようとしている。書籍業を祖とし、楽器販売は明治21（1888）年、ヤマハオルガンの契約販売に始まる。

「お客様を中心に考え、サービスを充実することでも長く続いてきたと思います」とピアノ専門店「開成館」館長の竹村早苗さん。

西洋の著名な楽器の輸入や楽譜の翻訳、出版を手がけた三木楽器は、明治33（1900）年には『鉄道唱歌』を出版し、大ヒット。大正14（1925）年、創業100周年を記念して、



たけむら・さなえ 音楽短大を卒業後、別業種を経て2004年に三木楽器へ。2018年より開成館館長。学生時代の専攻は声楽。先代の館長や先輩たちの思いを受け、「200年といわず300年も続いてほしい。そのためには私たちががんばらなければ」

北久宝寺町の本社ビルを新築。重厚なレンガスタイルを用いた外観は、ピアノの名門スタインウェイのドイツ本社社屋を参考にしたといわれる。3〜4階にはホールを構え、作曲家の山田耕筰が音楽講座を開いたことも。鉄筋コンクリートの頑丈な建物は戦火に耐え、1997年には登録有形文化財に指定された。2004年、本社ビルの1〜2階を改装、関西最大級のピアノショールーム「開成館」としてリニューアルオープンした。

「ここから輝く星が出てきてほしい」「開成館」の名は「三木楽器」の前身「大阪開成館 三木佐助商店」にもなむ。リニューアルにより、ベーゼンドルファーのショールームや、スタインウェイが弾けるレッスン室、コンサートを開催できる小サロンが設けられた。

「ここから輝く星が出てきてほしい」

「開成館」の名は「三木楽器」の前身「大阪開成館 三木佐助商店」にもなむ。リニューアルにより、ベーゼンドルファーのショールームや、スタインウェイが弾けるレッスン室、コンサートを開催できる小サロンが設けられた。

レッスンのプログラムは、初心者から音大受験、上級者まで対応し、卒業生が教師や演奏家として活躍することもあるという。サロンでの演奏会には、著名人だけ



8室あるすべてのレッスンルームにグランドピアノを設置。1部屋に2台のグランドピアノを置く部屋も2室ある。

ではなく、今後活躍が期待される若手の演奏者も招いている。

「ここから輝く星が出てきてくれたらうれしい」と竹村さん。音楽文化を育て、発信していくことが「開成館」の使命だと感じている。

また「せんば心齋橋筋商店街」にあることから、地元イベントにも積極的に参加。

「創業2000周年の2025年には、感謝セールのほか、音楽イベントなどを通して、お客様も従業員もひとつになれるようなことができれば」と竹村さんは考えている。

三木楽器株式会社としては、2023年、東京にギター専門店を開店。創業2000年を目前に、初の東京進出。三木楽器は今もなお挑戦を続けている。

丸一商店株式会社代表取締役 碓田光一さん

堺筋沿いのモダンな輸入楽器店

堺筋沿いに、バイオリンの形をした赤い看板が目印の店がある。昭和の初めより輸入楽器の販売を手がける「丸一商店」だ。村野藤吾が設計したモダンイズム建築のフジカワビルにある店舗は、まちの風景に彩りを添える。だが、入居は2016年とまだ最近のことだ。

現社長、碓田光一さんの祖父、一郎さんが個人で楽器の輸入販売を始めたのは、昭和の初め1927年。縁のあった丸善薬店（現・丸善薬品産業株式会社）の柳原三郎社長の支援もあり、1937年、中央区内平野町に合資会社「丸一商店」を設立する。

「丸善の社長さんがハイカラ好きで、お声がけいただいたのが会社設立のきっかけと聞いています」と碓田さん。屋号は丸善の「丸」と、初代、一郎の「一」から成る。

初代は1964年、日本で初めてイタリアの銘器ストラディヴァリウスの商取引を行った。東京藝術大学に納入された1717年作のバイオリンは、一時期演奏されずに保管されていたが、今は同大学教授のバイオリニストに貸与され、美しい音色を響かせている。



赤いバイオリンが目印。仕事帰りにレッスンに通う人も。バイオリン、ピオラ、チェロのレッスンは講師と生徒1対1。時間や回数は講師と相談。楽器のレンタルも可能。生徒は近隣の子どもから仕事帰りの大人まで幅広い。

なじみの船場で商売を続ける

戦後は道修町で17年、安土町で8年、そして高麗橋で45年と船場で商いを続け、会社の規模は、ビル一棟を使用するほどに大きくなった。時代の流れを読み、2011年、碓田さんは合資会社から株式会社に改組。小売りを視野に入れ、業務の効率化を考えていた時、フジカワビルのテナント募集を知る。

「移転先については、なじみのある船場以外は考えませんでした。入居の決め手となったのは、ガラス張りの路面店だったことと、よく音が響く吹き抜けの空間だったこと」と碓田さん。1階は楽器の展示と販売、演奏会などイベントのためのレンタ



ばんだ・こういち 1953年、神戸市生まれ。語学系の短大で英語とドイツ語を学び、卒業後、ドイツへ語学留学。帰国後、丸一商店に入社。ハンブルクのバイオリン工房で職人修業の経験も。1993年社長に就任。店でチェロの講師を務める井上ほのかさんは妻。

ルスペースに。らせん階段の上は工房。窓側の2階はバイオリン、ピオラ、チェロが学べるレッスン室にした。音の響きを調整するための絨毯を敷き、改修は近代建築に詳しい建築家に頼み、元の姿を変えないようにした。

「船場は始まりの場所。本格的な商いがスタートした地です。店はいつも船場と共にあったと感じています」という碓田さん。だから、地元とのつながりを大切にしている。

高麗橋時代には、ビル1階のガレージでランチタイムにコンサートを開いたり、開平小学校に赴き全校生徒に向けて弦楽器のカルテットの演奏会をしたりもした。

2023年、4年ぶりに開催された「e1よこ道遥」には10年以上前から参加し、「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」では、コンサートとともに建物の見学もできる貴重な場を提供。船場のまちに音楽を響かせている。

丸一商店

ヨーロッパはじめ世界各地の弦楽器および楽器周辺小物を取り扱う。
瓦町1丁目7-3 フジカワビル 10:00~19:00 ショップは日月休 工房は日~水休 (予約優先・祝日営業)06-6201-0044 map 14



三木楽器 開成館

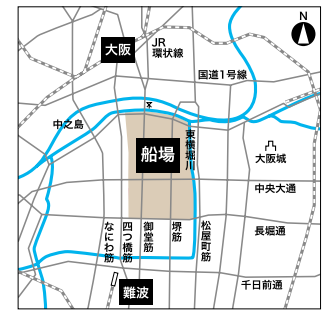
ヤマハピアノなどの中古販売も。自社ピアノ工房の技術者が、外装のほか、調律・整調・整音など内部の部品まで徹底して調整を行う。
北久宝寺町3丁目3-4 10:00~19:00 水休 06-6252-1820 map 13



2023 MAP

船場ガイドブック

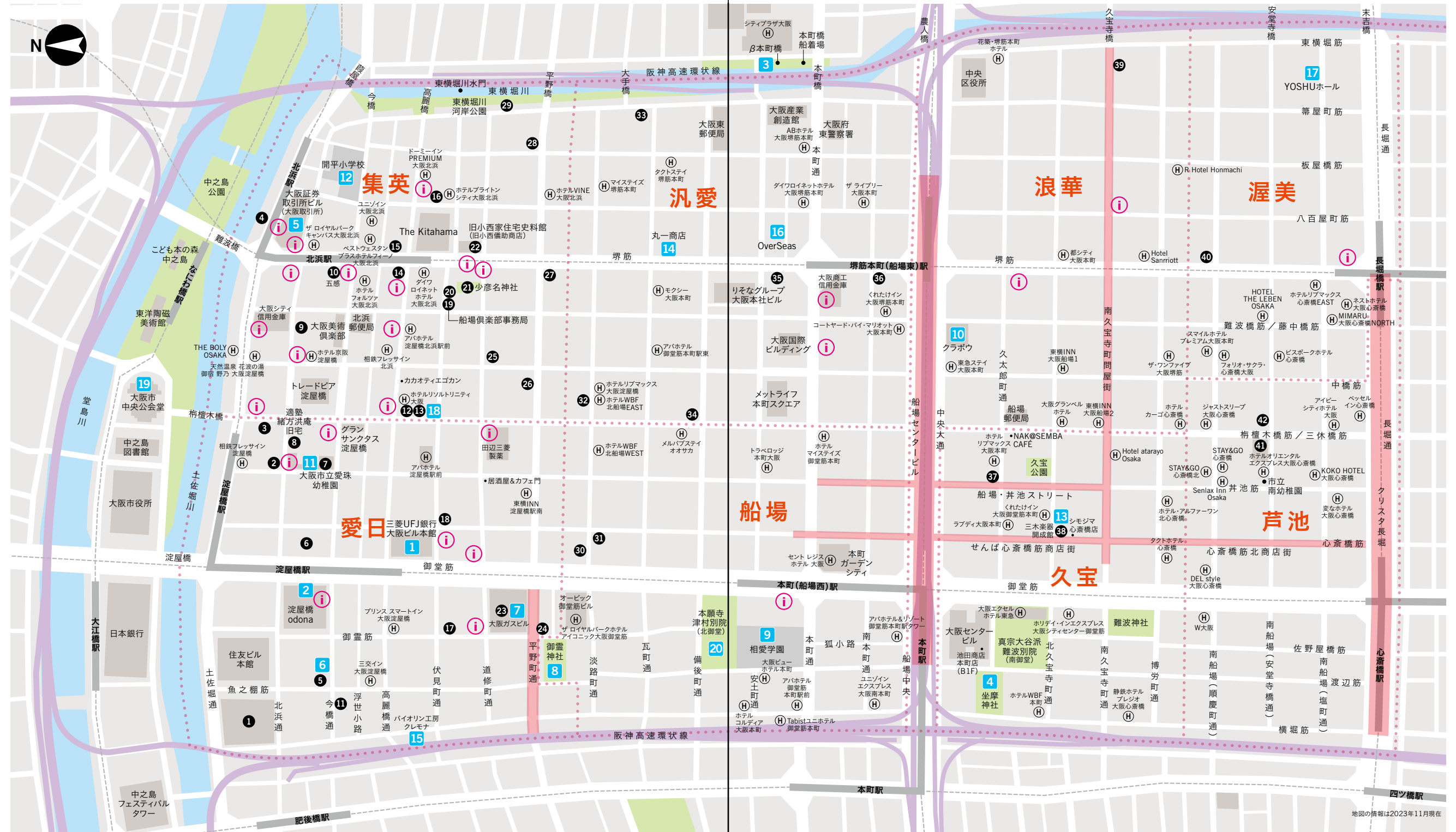
- 1~20 P3~P15 船場の音楽
- 連合振興町会区域
- 船場まちの案内板
- ホテル
- 公園・神社等
- 商店街



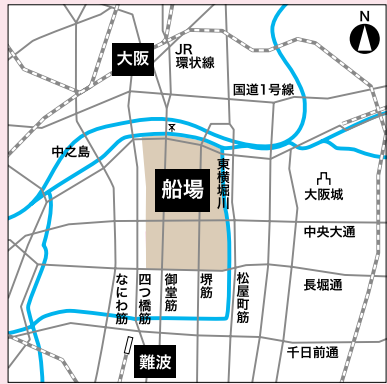
船場の近代建築

- 三井住友銀行大阪本店ビル
- 三共商事
- 吉田理容所
- 北浜レトロビルディング
- 大阪倶楽部
- 日本生命保険相互会社本館

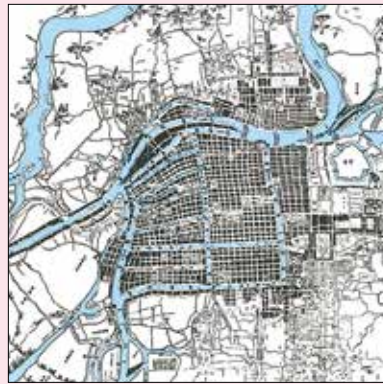
- 大阪市立愛珠幼稚園
- 適塾
- 中村健法律事務所
- 新井ビル
- 今橋ビルディング (旧中央消防署今橋出張所)
- 旧大阪教育生命保険ビル
- 日本基督教団浪花教会
- 高麗橋野村ビルディング
- 三井住友銀行大阪中央支店
- 高麗橋トキワビル
- 三井住友銀行大阪中央支店
- 芝川ビル
- 伏見ビル
- 青山ビル
- 少彦名神社
- 旧小西家住宅史料館 (旧小西儀助商店)
- 大阪ガスビル
- 北野家住宅
- 武田道修町ビル
- 小川香料
- 生駒ビルディング
- 三栄源エフエフアイ
- 第一三共大阪支店別館
- 清水猛商店
- 興和淡心ビル(旧板谷歯科医院)
- 船場ビルディング
- 岸本瓦町邸
- 綿業会館
- ハウザー 堺筋本町駅前ビル
- 風蘭ビル(旧明治屋南本町ビル)
- 井池織維会館
- 三木楽器 開成館
- クツワ株式会社
- 堺筋倶楽部 (旧川崎貯蓄銀行大阪支店)
- 大阪農林会館
- 原田産業



船場とは どんなまち？



船場の位置



幕末から明治の大阪・船場(明治5年)

船場の位置と特徴

船場は、北は土佐堀川、東は東横堀川、南は旧長堀川(現長堀通)、西は旧西横堀川(現阪神高速道路)に囲まれた南北2・1km、東西1・1kmの約230ヘクタールの区域をいいます。

港から大阪城に向かって、船場のまちは東西の「通り」を軸として発展、これに南北の「筋」が交わる格子状のまちがつくられ、今もま

ち割りが残っています。明治以降、堺筋や御堂筋等の整備により、人の流れは南北の「筋」が中心となりました。通りや筋の沿道には、現在も数多くの近代建築はじめ歴史的な建物が残り、ま

ちの変化を見ることが出来ます。

船場の400年のあらし

船場は、豊臣秀吉による大坂城築城に合わせ、西側の砂州の埋め立てで生まれたまちです。

大坂夏の陣、明治維新、太平洋戦争と、船場は幾度も壊滅的被害を受けますが、その度に新たな人びとを惹きつけて蘇り、かつての伝統と融合して新しい時代の船場の魅力を創りだしてきました。

水運の拠点から商都へ

江戸幕府直轄地後、更に埋め立ては拡大され、船場は水運の拠点となり、全国から人と富と情報を集積、大坂が城下町から経済都市に変容します。船場では金融・業・繊維・輸入雑貨など多くの間屋が繁栄します。

商都大坂の中心から町人文化の発信

この間、近松門左衛門に代表される文芸・芸能はじめ、多くの町人学者を輩出した懐徳堂など、なにわ商人の誇りある町人文化が育まれ、継承されました。

近代化による大坂へ

明治維新により、大阪の経済的基盤は壊滅的打撃を受けますが、その後急速に工業都市化し発展。大正期には「大大阪」と呼ばれる時代を迎え、モダンで最新の都市文化スタイルを創造しています。

新しい都心の魅力を求めて

戦後の復興を支えてきた船場も、1970年代からの繊維不況や産業構造の変化で、かつての賑わいを失っていききました。

戦前には約6万人あった人口も、一時約4千人まで減りましたが、2015年以降、約1万人を超えるまでに回復してきました。

昼間は約20万人が集中する業務都心に変わりありませんが、商業・業務機能の中心がキタとミナミへ集中するなかで、新しい都心船場の魅力が生まれつつあります。



高麗橋にある「バイオリン工房クレモナ」

「浪花教会」ではオルガンコンサートが再開される

「日本基督教団 浪花教会」(高麗橋2丁目)の3階にドイツ製のパイプオルガンが設置されており、毎週の礼拝には、このオルガンを使用して礼拝が行われている。パイプオルガンは2002年10月に建造。また、礼拝堂には明治21(1888)年アメリカ製のリードオルガンがある。1964年にオランダ製のパイプオルガンが購入されるまで使用されていた。1998年に修復。毎月第一木曜の正午礼拝と、毎週日曜10時半からの主日礼拝は、初めての人

も出席可能。2024年1月12日(金)はオルガンコンサート(第一金曜の正午礼拝時)が再開される予定。

https://www.instagram.com/iwai_gallery/
map 15

船場のジャズのライブスポット「OverSeas」

大阪のジャズの流れは、大正11(1922)年に北浜にできた老舗料亭「なだ万」が経営するレストランで演奏されたのが始まりという。一般社団法人大阪活性化事業実行委員会が、道頓堀を中心に「ジャズシティ大阪」という取り組みを行っており、ライブスポットとして、船場にある「OverSeas」(安土町1丁目)も、紹介されている。

http://jazzclub-overseas.com/
map 16

南船場の音楽ホール YOSHUホール

南船場1丁目のビルの2階にある「YOSHUホール」は、木の床、真っ白な漆喰の壁に囲まれた、木の温もりと豊かな響きが味わえるホール。椅子もゆったりした幅広サイズで、推奨の座席数は60席。グランドピアノを2台使用した、デュオやコンチェルトなどのコンサートや発表会、また個人のレッスンにも利用できる。ほかにチェンバロも利用が可能。

初代支配人は、指揮者・西本智実さんの母親の西本ひろみさん。「表現者との密接な距離感」「若手音楽家への支援」「新たな出会いと交流」といった理念を引き継ぐと同時に、2022年からは「一般社団法人日本総合芸術科学アカデミー(J-CASA)」として、音楽実験の試み(公開・非公開あり)もサロン空間で行なっている。西本智実さんが講師の講座も人気。

http://www.yoshuhall.sakura.ne.jp/
map 17

大塚善章コンサート

【大塚善章 QuintetHardBopJazzLIVE】

2024年2月11日(日・祝)14:00~
会場:大阪証券取引所ビル アトリウム
料金:無料
問合せ:adoremusiquesenba@gmail.com
map 5

【大塚善章 音楽生活70周年・卒寿記念リサイタル】

2024年11月24日(日)15:00~(予定)
会場:エルセラールホール
(北区堂島1丁目)
料金:全席指定5,000円(予定)
詳細が決まり次第、公式HPに掲載
http://zenshow.jp/

本願寺津村別院(北御堂)では毎月「北御堂相愛コンサート」が開かれる

毎月最終木曜日(月により変動あり)のお昼に、本願寺津村別院(北御堂)(本町4丁目)の本堂では、相愛大学在学・卒業生によるクラシックコンサートが開かれています。

2023年11月30日(木)/12月21日(木)
2024年1月25日(木)/2月29日(木)/3月28日(木)
時間はいずれも12:25~12:45
入場無料
問合せ:06-6261-6796(津村別院)
map 20

※掲載情報は2023年10月25日時点のものです。都合により変更される場合がありますので、ご了承ください。

船場の音楽情報メモ

日本テレマン協会

【第538回マンズリーコンサート】

2023年12月8日(金)18:30~
会場:大阪倶楽部4階ホール
曲目:J.S.バッハ「ゴルトベルク変奏曲」
出演:チェンバロ 高田泰治
料金:(自由席)一般 3,000円
map 6

【創立60周年事業】

日本テレマン協会第302回定期演奏会】

2024年1月18日(木)18:30~
会場:大阪市中央公会堂3階中集會室
曲目:F.メンデルスゾーン序曲「フィンガルの洞窟」/バイオリン協奏曲 ホ短調/交響曲 第3番「スコットランド」
出演:指揮 延原武春/バイオリン 浅井咲乃/テレマン室内オーケストラ
料金:(自由席)一般 5,000円
map 19
メール予約:yoyaku@cafe-telemann.com
「お名前(ヨミガナ)・チケット枚数・ご住所・電話番号」を明記のこと。
日本テレマン協会 06-6345-1046(平日10時~18時)
http://www.cafe-telemann.com/



協賛広告

船場ガイドブック2023に協賛いただきました
お店と企業です。

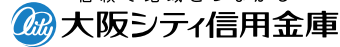
※広告に記載している休業日・営業時間などは
変更される可能性があります。



かがやく未来へ
全速前進!

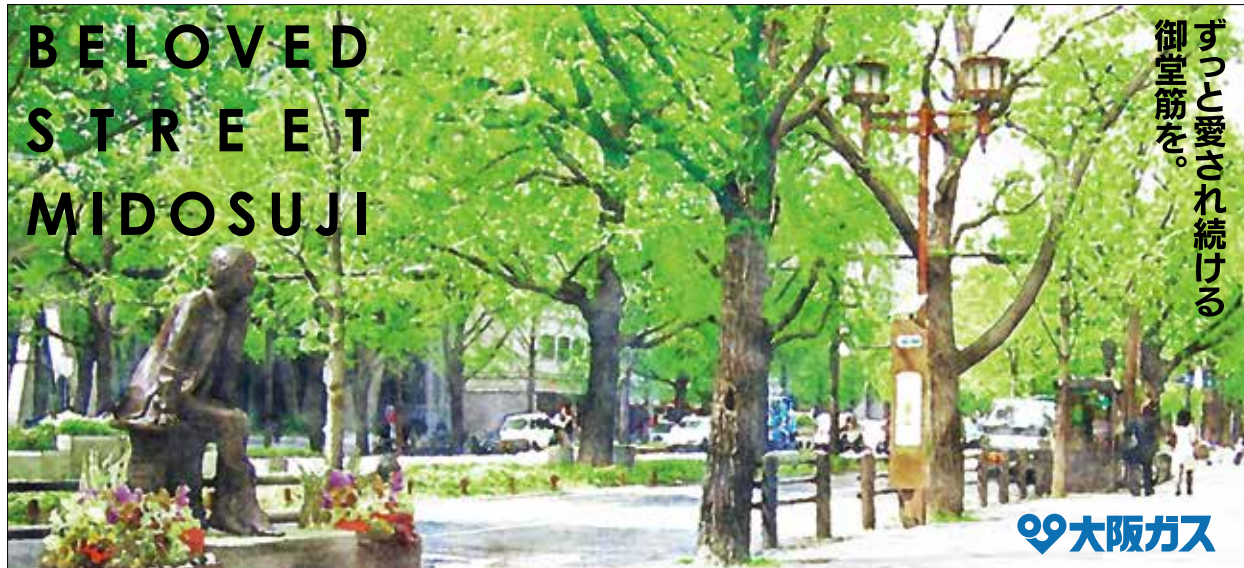
かなえない想いととも

信頼で地域とつながる



本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL. (06) 6201-2881 (代表)
<https://www.osaka-city-shinkin.co.jp/>

大阪府内に87店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。
令和5年11月1日現在



BELOVED
STREET
MIDOSUJI

ずっと愛され続ける
御堂筋を。



創業1888年
池田商店紳士服部 本町店

創業135周年を迎えた老舗の技術を生かし、最新のスタイリングのスーツをお求めやすい価格でご提供しております。
特別価格 国産生地使用仕上り 6万円～
舶来生地使用仕上り 8万円～

営業時間 月～金 10時～18時 土 10時～15時
日祝日・第2、第3土曜休 電話 06-6252-7758
住所 中央区久太郎町4-1-3
大阪センタービルB1 (旧伊藤忠ビルB1)

選択肢をつくる。
希望をつくる。

みんなも選べるこの時代に、
まだ選択肢が乏しい世界があります。
そこでは、上っただけの選択肢が生まれることが、
多くの人の希望につながります。
だから、田辺三菱製菓はつくりたい。
みんなも選べるすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた
菓づくりの力を生かして、
みんなも選べる分野で、積みつけていきます。
そこにあっても人がいるのが、

田辺三菱製菓
<https://www.tbmshokery.co.jp/>

“いい時代と、いい音楽のために”
MIKI GAKKI 三木楽器株式会社

1825年創業。音楽への探求を続け、音楽文化の発展とともに2025年に200周年を迎えます。

開成館 ピアノショップ
営業時間：10:00～19:00(水曜定休)
所在地：北久宝寺町3丁目3番4号
電話：06-6252-1820
WEB：https://www.miki.co.jp

国登録有形文化財

(株)シモジマ心斎橋店

文房具から包装紙、店舗用品、キャラクター雑貨まで約70,000点の幅広い品揃えを誇るお店です。
すべて卸価格ですが、どなたでもご利用いただけます。是非一度お立ち寄りください。

営業時間 10時～18時半
定休日 不定休
電話 06-6252-4361
住所 中央区北久宝寺町3-3-8

居酒屋&カフェ 門

定番人気はチキン南蛮と夜の石焼きカレー。
道修町で60余年、「おおきに」の心を受け継いで豊富なメニューをリーズナブルにご提供。
船場の歴史資料を展示したり催しもしております。

営業時間 11時～14時/17時～23時
土曜は貸切予約のみ 日祝休
電話 06-6231-8509
Eメール youtora813@gmail.com
住所 中央区道修町3-3-12

地域の皆さまとともに歩む信用金庫

Shoko 大阪商工信用金庫

〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目2番8号
本部 TEL. 06-6267-1636 (代表)
<http://www.osaka-shoko.co.jp/>

GOKAN
五感 北浜本館

大阪市中央区今橋
2-1-1新井ビル
TEL.06-4706-5160

<http://www.patisserie-gokan.co.jp>

Cacaotier Gokan
Chocolat et Glace

カカオティエゴカン

大阪市中央区高麗橋2-6-9
TEL. 06-6227-8131

<http://cacaotier-gokan.co.jp>

NAK@SEMBA CAFE

中船場に地域に開かれたコミュニティHUBが誕生。ハンモックチェアに揺られながら自由になる。かかわりあう皆様とそれぞれの想いを持ちあわせて楽しみながら、共に創り上げる「場」づくりを目指しています。イベント利用も可能です!

大阪市中区久太郎町3-2-11船場工ケルビル1階
営業時間：10時～18時 (土日祝休み)
辰野株式会社 不動産事業部開発チーム TEL:06-6263-2511

@nakasemba_cafe

大阪船場ロータリークラブは船場のまちづくりを応援しています

Rotary

大阪船場ロータリークラブ
The Rotary Club of Osaka Semba

tel. 06-6244-1008
e-mail. semba@cocoa.ocn.ne.jp

世界に希望を生み出そう

創立35周年記念写真

一般社団法人 船場倶楽部

「まちの案内板」の設置を契機として、「地域連合振興町会」「船場地区HOPEゾーン協議会」「船場げんきの会」が発起人となり、2015年9月11日「船場倶楽部」が発足した。その後、一つの組織に再編統合して、船場で活動する団体が一堂に会する現体制の「船場倶楽部」が2018年に誕生。2023年8月1日「一般社団法人船場倶楽部」として法人化した。

船場倶楽部では、船場の歴史・文化を引き継ぎながら、未来に向けて人びとの暮らしやビジネス・文化を磨き、一層魅力ある船場の姿を求めて、まちづくりを進めている。

会員：正会員(地域連合振興町会、商店街、まちづくり団体、法人企業) 75名
賛助会員(法人、個人)65名 (2023年9月現在)

一般社団法人船場倶楽部 事務局

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目2-3 伏見ビル1階
info@sembaclub.com www.sembaclub.com



伏見ビル1階の船場倶楽部事務所

この船場ガイドブック2023の制作にあたり
集英地域活動協議会が大阪市中央区地域活動協議会補助金を
船場倶楽部が公益財団法人東教育財団の地域文化事業助成を受けています

船場ナビ 船場の情報をまとめて発信する「船場ナビ」

イベント情報や日常風景をウェブ・SNSで発信
まち歩きで使えるGPSイラストマップも公開中

船場ナビ 検索



船場ガイドブック2023

発行日：2023年11月20日

制作・発行：集英地域活動協議会、一般社団法人船場倶楽部

編集会議：谷口康彦、千葉桂司、塚村真美、日比哲夫、三谷直子、米田佳代

デザイン：ツムラグラフィック イラスト：川口澄子 取材・執筆：稲垣諭、植田朋子

編集協力：株式会社ワークルーム

